

穂肥は各圃場の幼穂長を確認(診断)し、 適期に施用しましょう。

- ・ 早生の幼穂が確認され始めています。早生の穂肥は遅れないように施用しましょう。
- ・ コシヒカリの1回目穂肥は遅め控えめに施用し、2回目重点の穂肥を行いましょよう。
(2回の窒素成分の合計は、3kg/10a 以内)
- ・ **品種・ほ場ごとの生育差が大きい**ので、穂肥の施用前には、必ず幼穂長を確認しましょう。
- ・ 中干し終了後は、飽水管理を徹底してください。

1 水稻生育状況 (7月10日現在) 草丈：、茎数：、葉数：、葉色：

品 種	場 所	移植	草 丈(cm)			茎 数(本/m ²)			葉 数(葉)			葉 色 (SPAD)		
			本年	前年	指標	本年	前年	指標	本年	前年	指標	本年	前年	指標
コシヒカリ					55			400		0.0				38.0
こいぶき					52			300		10.0				38.0

各地域で記入(生育調査日にあわせて指標値も修正してください)

2 幼穂形成期・出穂期の予想と穂肥施用のめやす (注：稚苗 5/6 植で予想)

品 種 名	幼穂形成期	出穂期	1 回目穂肥			2 回目穂肥		
			出穂前日数	施用時期	窒素量 (kg/10a)	出穂前日数	施用時期	窒素量 (kg/10a)
ゆきん子舞	7/3~4	7/26~27		施		14	7/12~13	1.0~1.5
こいぶき	7/4~5	7/27~28		用		14	7/13~14	1.5
わたぼうし	7/2~4	7/25~27		ず		12~10	7/13~7/17	1.0~1.5
五百万石	7/2~3	7/25~26		み		12	7/13~14	0.5~1.0
コシヒカリ	5/6 植	7/14	18~15	7/16~7/19	0.5~1.0	10	7/25	1.0~2.0 ☆穂肥の合計 窒素成分量は 3kg/10a 以内
	5/10 植	7/17		7/20~7/23			7/28	
こがねもち	7/8	7/31	18~15	7/13~7/16	0.5~1.0	10	7/22	1.0~1.5

☆気象状況によっては予想日が変わります。今後の情報にご注意下さい。

☆1回目の穂肥時の葉色の目安=SPADで34.0、葉色板(単葉)で4.0前後。

草丈、茎数、葉色の濃さの判断により、遅らせることや減肥の対応をお願いいたします。

☆大豆跡では、生育状況にあわせて穂肥を調整しましょう。

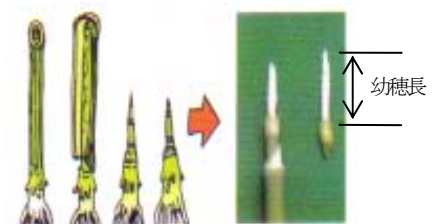
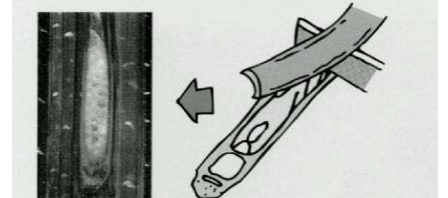
【幼穂長による出穂前日数のめやす】必ず幼穂長を確認しましょう

幼穂長 (cm)	0.02	0.1	0.13	0.2	0.5~1.0	4.0~6.0
出穂前日数 (日)	30	24	23	20	18	12

↑
コシヒカリ 1 回目施用時期

【幼穂の長さを確認する】

(その1 カッターなどで割る)



3 カメムシ対策(草刈り)、中干し後の

水管理(飽水管理)の徹底

○今年の斑点米カメムシ類の発生時期は平年並~やや早く、発生量もやや多めです。畦畔等の雑草が結実しない間隔で草刈りを徹底しましょう。

○幼穂形成期頃(出穂前25日から)は水が最も必要です。中干し後の飽水管理を徹底しましょう。